

出雲市母子健康包括支援センター 『きずな』を開設しました

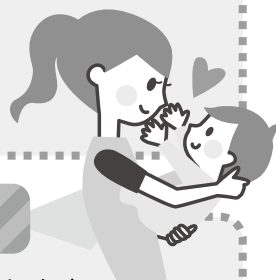
市では、平成29年10月1日から、妊娠・出産・子育て期に関する不安や悩みを相談できる場として、出雲市母子健康包括支援センター『きずな』を開設しました。

❀ 妊娠・出産・子育てを切れ目なくサポートします！ ❀

妊娠・出産・子育ての相談ができます

<専用相談室の設置>

市役所1階に個室の専用相談室を用意しています。健康増進課の窓口にお越しください。秘密は、固く守ります。



母子健康手帳を交付し、相談を行います

妊娠と診断された方で、出雲市に住民票のある方に、母子健康手帳を交付します。保健師等が、丁寧な相談対応を行い、状況に応じた情報提供を行います。また、妊婦一般健康診査受診票を交付し、妊婦健診の費用の一定額を公費で負担しますので、経済的不安がある方も安心して健診を受けることができます。

保健師・助産師が家庭訪問します

<妊娠中の方>

不安なことや心配なこと、気になることを、お気軽にご相談ください。希望される方には、ご家庭へ訪問をします。

<出産後の方>

保健師や助産師が、ご家庭へ訪問をします。赤ちゃんの身体計測や子育ての相談に応じます。



❀ 悩みを一人で抱えていませんか？お気軽にご相談ください ❀



妊娠したかもしれない。
どうしたらよいかわからない。

子育てに
自信がもてない。

子育てを
手伝ってくれる人が、
身近に誰もいない。



妊娠は
うれしかったが、
出産して、育てる
自信がない。

妊娠したことを、
親にも、友達にも
誰にも言えない。
知られたくない。



直通電話相談ダイヤル ☎21-6818
月曜～金曜(祝日・年末年始除く)8:30～17:15

おたずね／健康増進課 ☎21-6981

手話

によるふれあいの輪の
広がりをめざして

出雲市手話の普及の推進に関する条例を施行

出雲市では、島根県内の自治体で初となる手話言語条例「出雲市手話の普及の推進に関する条例」を9月28日に施行しました。

◆ご存知ですか？

「手話は言語」です

手話は、手指の動きや表情などを使って伝えたいことを表現するもので、耳の聞こえない人にとって、大切な「言語」です。

「言語」である手話によりコミュニケーションを図る権利が尊重され、手話による意思疎通を円滑に行うことのできる環境を整備することが必要です。

◆手話への理解を

深めることから
始めましょう

手話の普及のためには、「手話に触れる」「手話を学ぶ」「手話を使用する」機会を増やすことで、市民の皆さまに、手話への理解を深めるとともに手話への関心を高めていただくことが必要です。



よろしくお願いします

◆市民のみなさまへ お願い

手話への理解が深まることにより、手話が使いやすい環境が整い、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現につながります。市民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

手話の普及にむけて実施する施策

市は、条例に基づき、次の施策を実施し、手話の普及に取り組めます。

- ①手話に触れる機会の拡大
- ②手話を学ぶ機会の確保
- ③手話による情報発信及び情報取得の機会の拡大
- ④手話による意思疎通の支援の充実
- ⑤手話通訳者等の育成及び確保

「出雲市手話の普及の推進に関する条例」に関するおたすねは、福祉推進課まで。

おたすね／福祉推進課 ☎21-6959
FAX 21-6598

認知症について学び、地域で支えよう

～認知症になっても笑顔で暮らせるまちづくり～

高齢化社会を迎えた今、『認知症』は誰もがなり得る病気です。

認知症になると「何もわからなくなる」のではなく、本人はもの忘れを自覚し、言葉や記憶がいまいになることに強い不安や寂しさを感じています。その中で、周囲が間違いを指摘したり、叱責を繰り返すと、病気を認めたくない思いや周囲に知られたくない思いから本人は徐々に孤立していき、自分の居場所がなくなる不安感から、着替えを嫌がったり、「財布を盗まれた」と思い込むなど、症状を悪化させます。

健康な人と同じように、認知症の人の心情もさまざまです。周囲の理解と気遣いがあれば、穏やかに暮らしていくことができます。

認知症を正しく理解し、自然なかかわりあいのなかで、地域での支え合いを考えていきましょう。

認知症ケア・フォーラム inいすも

申込
不要

無料

と き 12月2日(土)13:30～16:30

と ころ 市役所 くにびき大ホール

内 容 第1部 基調講演

「認知症と共に：これからの生き方・支え合い方
～やさしい地域をいっしょにつくろう～」

講師／認知症介護研究・研修東京センター
研究部長 永田久美子 氏

第2部 シンポジウム

「認知症になっても自分らしく暮らしていく
ための支援と地域づくり」

《コーディネーター》

医療法人 エスポール出雲クリニック 院長 高橋幸男氏

おたすね／医療介護連携課 ☎21-6106

